

パートナーシップ活動を活かした 環境分野における「学び、気づき、行動する 市民・事業者」の創出と育成

愛知県大府市
市民協働部 環境課
係長 植木 孝

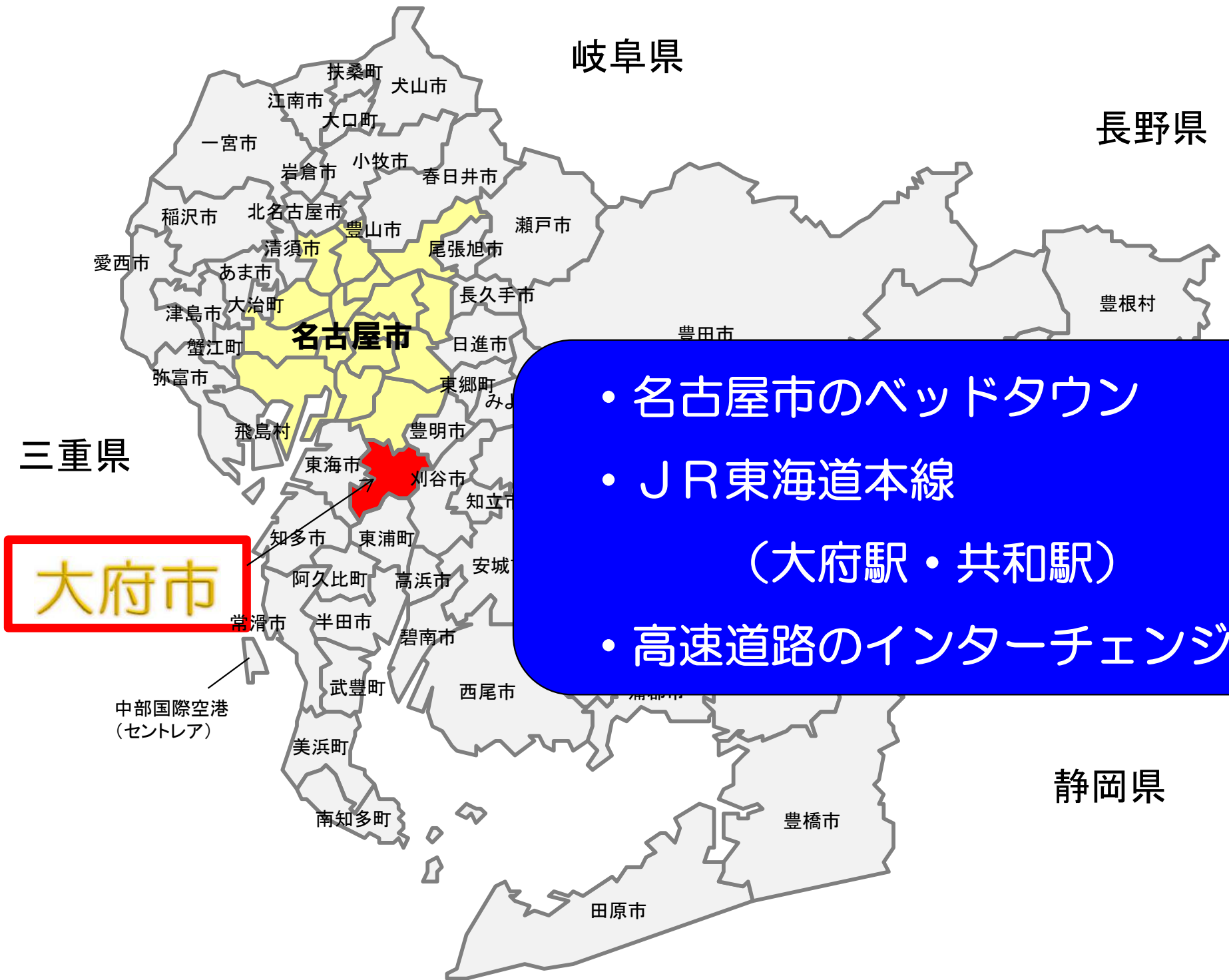


大府市の紹介



【大府市の概要】

市制施行	昭和45年9月1日
面積	33.67km ²
人口（R7年3月末）	93,112人
増加人口（対前年）	130人(0.1%増加)
世帯数（R7年3月末）	41,138世帯
65才以上（R7年3月末）	21.63% (全国平均29.3%)
一般会計歳出（R6年度）	約439億円
財政力指数（R6年度）	1.14
公債費比率（R6年度）	3.1%
経常収支比率（R6年度）	83.5%



岐阜県

長野県

三重県

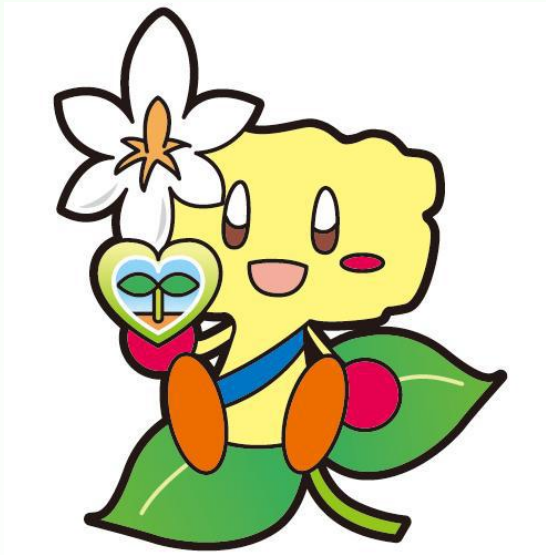
静岡県

- 名古屋市のベッドタウン
- JR東海道本線
(大府駅・共和駅)
- 高速道路のインターチェンジ

大府市

中部国際空港
(セントレア)

大府市環境基本計画と ゼロカーボンシティ宣言



環境基本計画推進事業

【大府市環境基本計画 見直し改定版(R6改定)】

計画期間

本計画見直し改定版の期間は、令和7年度(2025年度)～令和12年度(2030年度)の6年間です。

施策の体系

＜第6次大府市総合計画の将来都市像＞
いつまでも 住み続けたい サステナブル健康都市おおぶ



【環境将来都市像】
人と自然が共生するみらい輝く健康都市
～安心して暮らし続けることができる
まちを実現しよう 我がまち大府で～

【環境将来都市像を実現するための基本理念】
**一人ひとりが自分ごととして環境を意識し、
学び、気づき、そして行動する市民を育む**



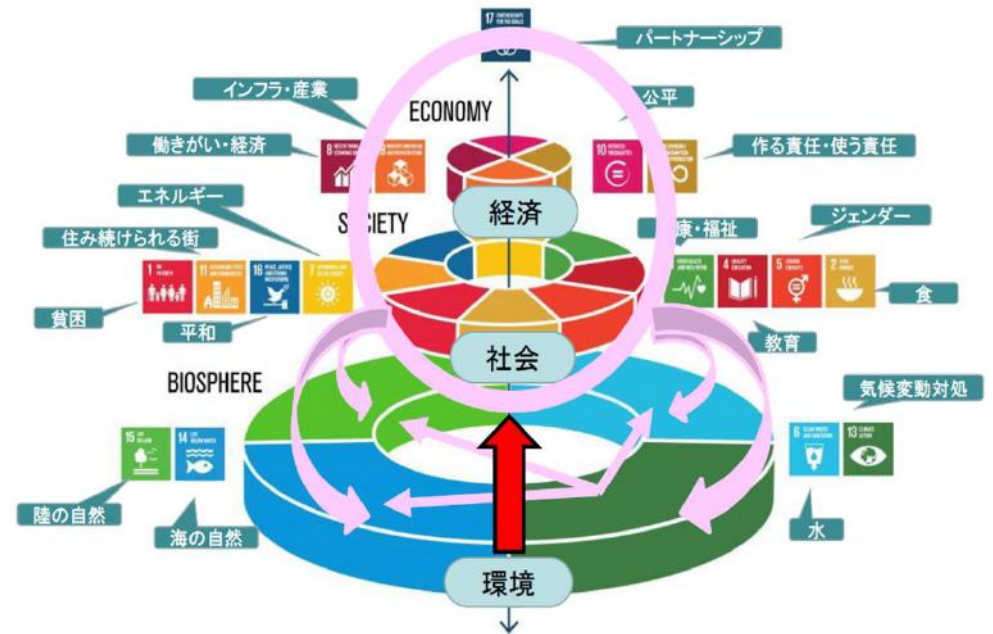
環境基本計画推進事業

【大府市環境基本計画】

SDGsへの貢献

SDGsには、国際社会全体に関わる幅広いテーマの17のゴール(目標)が定められています。スケールは異なるものの、本計画においても目指すべき方向性は同様であることから、環境に直接的に関係するゴールを中心としながら、その他のゴールについても環境の視点から関連性を持って事業を展開し、SDGsの推進に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境と直接関係ない分野も環境に結び付く

2050年

ゼロカーボンシティの実現
【目標：温室効果ガス排出量実質ゼロ】

国（環境省）
の推進

2030年

大府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
【目標：温室効果ガス排出量50%削減（2013年度比）】
（※第3次大府市環境基本計画 見直し改定版に包含）

持続可能に発展

地球温暖化対策推進法に
基づく推進

各施策の達成

環境基本計画
見直し改定版の推進

<ゼロカーボンシティ実現に寄与する施策内容>

①温室効果ガスの排出を減らす

- ・省エネルギー・省資源の推進
- ・環境に配慮した事業活動の促進
- ・環境にやさしい交通利用の促進

脱炭素社会づくり

②資源循環の促進による環境負荷の低減

- ・廃棄物のリサイクル推進と再エネ活用
- ・環境に配慮した消費行動・事業活動の促進
- ・循環型社会の形成（ごみ減量化及び脱プラスチックの推進など）

循環型社会づくり

③二酸化炭素の吸収源を確保する

- ・水と緑の保全
- ・身近に資源と親しむ場所の確保
- ・広域連携の推進

自然共生社会づくり

④ 気候の変動に適応する

- ・熱中症などによる健康被害の防止
- ・局地的豪雨などによる災害の防止
- ・生態系や農作物などへの被害の抑制

6次総と連携

様々な活動で活躍

様々な活動で活躍

様々な活動で活躍

◎クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府などの『環境パートナーシップ活動』の推進

地域協働・人づくり

⇒ 第3次大府市環境基本計画 見直し改定版を推進することで、総合的にゼロカーボンシティを目指す

大府市環境パートナーシップの 活動概要と取組紹介



大府市環境パートナーシップの概要

大府市環境パートナーシップとは

市民団体・大学・事業者など、環境づくりに関心のあるプレイヤーの「地域協働・人づくりの拠点」として、平成15年度に発足した「環境活動プラットフォーム」です。環境課題における「発掘」「課題解決」「普及促進」の各フェーズについて、シームレスに連携・協力体制を構築できます。

- ・一人ではできない・・・
- ・活動場所がない・・・
- ・発信ができない・・・
- ・知識が足りない・・・

相談者
・
企画提案者

環境活動プラットフォーム体制

【活動のフィールド提供】
商業施設、民間保育園、大学、
医療・健康関係機関、行政機関

コーディネート

【ワンストップ窓口・
コーディネート】
。大府市

課題・提案等

コーディネート

コーディネート

【活動への参加、社会貢献】
市民、市民団体、事業者、自治区、
地域コミュニティ

【学び、ノウハウ、気づきの提供】
大学、支援機関、地域活動団体、専門家

連携・協力体制の構築

学び、気づき、行動する市民・事業者の創出・育成

<活動事例>



アサギマダラ飛来の拠点づくり



水槽展示による生物多様性の啓発



竹水鉄砲作り体験

2025年



愛知環境賞 優秀賞

大府市環境パートナーシップ

パートナーシップ活動を生かした環境分野における
「学び、気づき、行動する市民・事業者」の創出と育成

連絡先

大府市 市民協働部 環境課
<https://www.city.obu.aichi.jp/kurashi/gomi/kankyohozen/1021688/index.html>
大府市中央町5丁目70 0562-85-5335(大府市環境課)



受賞のポイント

産学官民が連携して、課題の発掘から解決・普及促進まで実施する活動は、行政を主体とする効果的な地域連携の好事例であり、持続可能な社会の実現に大きく貢献するものと評価された。

概要

- ◆大府市環境パートナーシップは、環境づくりに関心のある市民団体・大学・事業者などにより構成され、地域協働・人づくりの拠点「環境活動プラットフォーム」として2003年度に発足した。
- ◆行政が中心となり、産学官民が連携して円滑に活動できる体制を地域の課題・企画提案毎に構築し、20年以上継続して環境活動を実施している。
- ◆「アサギマダラ飛来の拠点づくり」活動では、元来アサギマダラが南下するルートとなっている地域の特徴を生かして、アサギマダラの好むフジバカマの植栽や剪定など、活動の場や学びの機会を提供する体制を構築し、自然環境保全を学ぶ取組を地域に創出している。
- ◆また、生物多様性保全の啓発や子ども達が自然環境に触れる体験学習会の創出など多様な活動を実施し、その活動を他の自治体へ紹介することで、各地域の環境活動の活性化にも寄与している。

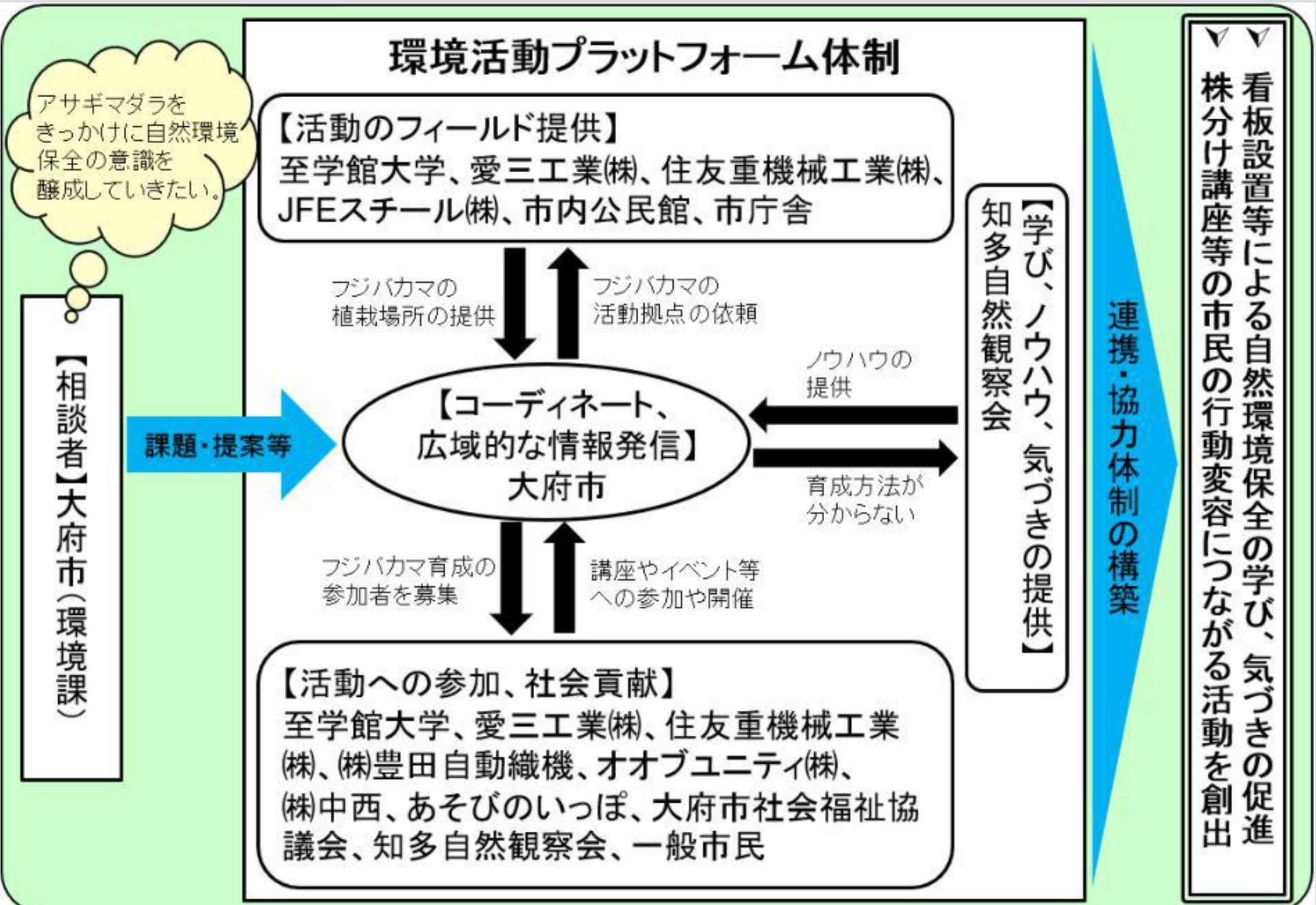


表彰式の様子 (EPOC会長、市長、知事)



一般社団法人BUN-KAI(大府市)との同時受賞

活動事例1「アサギマダラ飛来の拠点づくり」



アサギマダラをきっかけに自然環境保全の意識を醸成していきたい。

【相談者】大府市(環境課)

課題・提案等

環境活動プラットフォーム体制

【活動のフィールド提供】
至学館大学、愛三工業(株)、住友重機械工業(株)、JFEスチール(株)、市内公民館、市庁舎

フジバカマの
植栽場所の提供

フジバカマの
活動拠点の依頼

【コーディネート、
広域的な情報発信】
大府市

ノウハウの
提供

育成方法が
分からない

フジバカマ育成の
参加者を募集

講座やイベント等
への参加や開催

【活動への参加、社会貢献】
至学館大学、愛三工業(株)、住友重機械工業(株)、(株)豊田自動織機、オオブユニティ(株)、(株)中西、あそびのいっぽ、大府市社会福祉協議会、知多自然観察会、一般市民

【学び、ノウハウ、気づきの提供】
知多自然観察会

連携・協力体制の構築

▽ 看板設置等による自然環境保全の学び、気づきの促進
▽ 株分け講座等の市民の行動変容につながる活動の創出

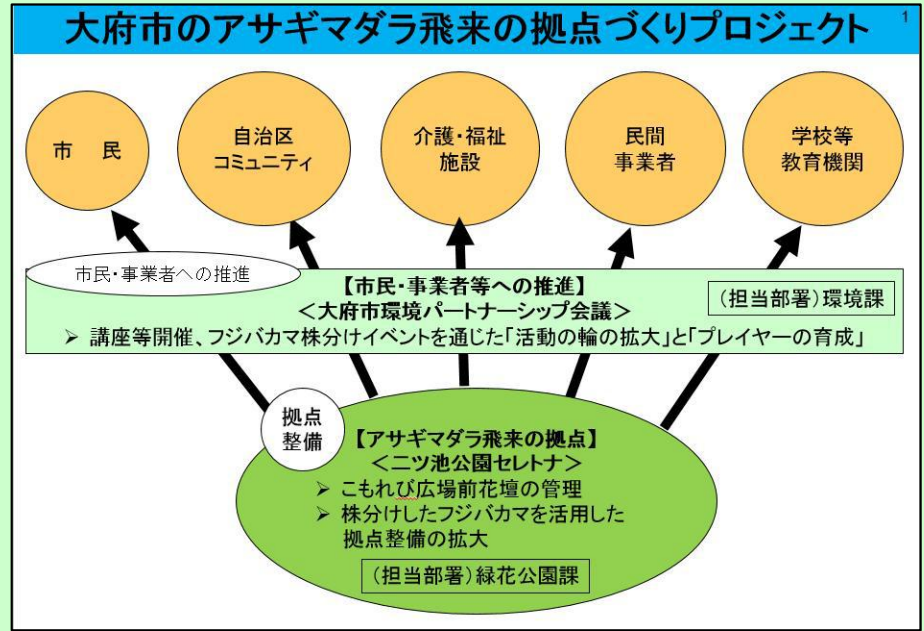
活動事例1「アサギマダラ飛来の拠点づくり」

アサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト

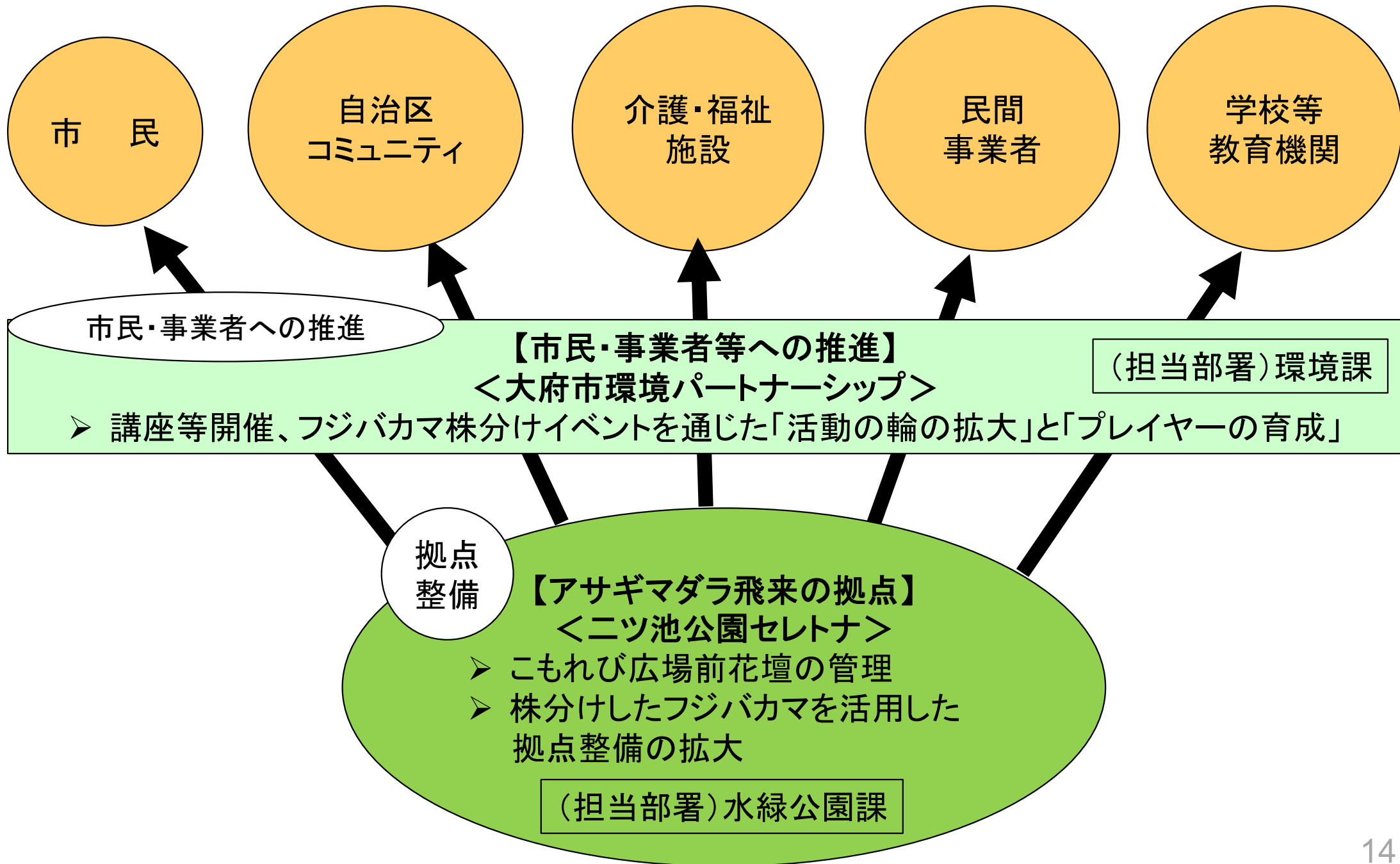
アサギマダラ飛来の拠点として「ニツ池セトナ」の整備を進めながら、地域に密着した環境づくりに関心のある団体である「大府市環境パートナーシップ」を中心に、市内にフジバカマの植栽とアサギマダラの飛来の普及啓発活動を行っています。

フジバカマは秋の七草の一つとして万葉の時代から人々に親しまれてきた多年生の植物で、8～10月に直径5mm程度の白っぽい小さな花を多数咲かせます。

アサギマダラは前翅長が5cmほどの大型の蝶であり、黒い翅脈がある半透明の水色の羽を持ちます。細かく羽ばたかずふわふわと飛翔し、人をあまり恐れないため夏から秋にかけてフジバカマ等のキク科の植物の花に集まり、吸蜜する様子を見ることができます。



大府市のアサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト



知多半島アサギマダラネットワーク情報交換会

【知多半島で広がるつながり】

令和2年度から、知多半島内でアサギマダラ飛来に向けて活動している自治体や団体に呼び掛けて、「知多半島アサギマダラネットワーク情報交換会」を開催しています。

令和7年10月10日に行われた情報交換会には、9市町の自治体職員とボランティアの方が参加しました。それぞれの取り組みを尊重しながら、相互に活動報告するなど、「知多半島をアサギマダラの飛来地にする」という将来像に向けて情報交換を行いました。



みんなで一致団結

知多半島をアサギマダラの飛来地にするために



情報交換会終了後、参加者の皆さんで、大府市のフジバカマの成育とアサギマダラの飛来の状況を観察しました。



【情報交換会によって確認されたこと】

1. 育成ノウハウの共有

お互いに活動を報告し合い、フジバカマを育てる上で工夫することや気を付けることなどを共有しました。

2. 顔の見えるネットワークの構築

各地域の関係者が、気軽に悩みを相談したり、質問を投げ掛けたりして、参加者同士の関係性を築きました。

3. 知多半島の広域的な拠点整備の推進

常滑市と武豊町、阿久比町では、大府市から分けた株を新たに公園などに植え、アサギマダラの飛来拠点を整備しました。

活動事例2「市内施設への水槽展示による生物多様性の啓発」

水槽展示をきっかけに生物多様性を学ぶ地域貢献活動につなげたい。

【相談者】(株)豊田自動織機長草工場

課題・提案等

環境活動プラットフォーム体制

【活動のフィールド提供】

大府大和共栄保育園、大府大和明成保育園、ビオーズ横根保育園、至学館大学、至学館大学付属幼稚園、あいち小児保健医療総合センター、あいち健康プラザ、市内小学校

水槽展示場所の提供

水槽展示場所の協力の依頼

【ワンストップ窓口、コーディネート、情報発信】
大府市

講師派遣や知識・ノウハウの提供

専門知識や法規制等の確認

在来種採取の協力の依頼

在来種採取の手伝いや採取した水生生物の提供

【活動への参加、社会貢献】

至学館大学、愛三工業(株)、大府市

【学び、ノウハウ、気づきの提供】
知多自然観察会

連携・協力体制の構築

▼ 本市の豊かな生態系の学び、気づきと行動変容の促進
▼ 医療・健康関連施設への水槽展示など波及効果を創出

活動概要



以前、長草工場来客ロビーに環境コーナー(近隣の在来種川魚展示等)を設置して来客者・従業員へ生物多様性等の啓発活動を行っていました。

現在は、保育園や小学校、医療・健康関連施設等まで水槽展示の活動が広がり、子ども達だけでなく、子育て世代やシニア層まで生物多様性への学び、気づきの輪が広がっています。



活動実績

- | | |
|--|---|
| <p>① アスク共和東保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:2024年9月~11月 ・水槽見学者数(推定):205人 ・お便り数:0通(保育園の都合により) | <p>③ 大東小学校(初めての設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:2020年9月~2021年3月 ・水槽見学者数(推定):483人 ・お便り数:217通 |
| <p>② ビオーズよこね幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:2024年5月~7月 ・水槽見学者数(推定):131人 ・お便り数:20通 | <p>④ あいち健康プラザ(健康関連施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:2022年10月~2023年1月 ・施設利用者数:年間約24,000人(延べ) ・お便り数:96通 ※中日新聞にも掲載されました。 |

2026愛知環境賞
銅賞を受賞

活動のポイント

- ① 至学館大学の学生が貸出期間を通して、子ども達とのお便りのやり取りを実施(質問、イラスト等)
- ② 大府市環境課主催のいきもの観察会と連携して、子ども達が捕まえた魚を水槽へ追加して、さらに興味を持ってもらう工夫を実施(子ども達が係わることで愛着が向上)

さらに現在では・・・

活動実績 plus1

【おさかなタッチイベント】

知多自然観察会と連携し、生きた魚を触る体験を通じて、生物多様性への理解を深めるイベントを開催しています。地域の魚に触れることで、命のつながりを学び、自然環境保全の意識が醸成されています。



活動実績 plus2

【こどもお魚博士認定テストと認定証の交付】

水槽の魚に関心を持った子ども達には、さらに「こどもおさかなはかせのmondai」に挑戦してもらい、合格すると「こどもお魚博士認定書」を交付し、将来の環境リーダーの育成にも貢献しています。

こどもおさかなはかせのmondai

くらすなまえ

①さかなのしゃしんとなまえをむすんでみよう！

	ドジョウ (どじょう)
	ヌマチチブ (ぬまちちぶ)
	ニホンウナギ (にほんうなぎ)
	ヤリタナゴ (やりたなご)
	カマツカ (かまつか)
	タモロコ (たもろこ)
	ギンブナ (ぎんぶな)
	モツゴ (もつご)
	スミキゴリ (すみきごり)
	オイカワ (おいかわ)

②いちばんすきなさかなのなまえをかくてね。

③すいそうについておもったこと、わかったこと、なんでもかくてね。





活動概要

市内の保育園・こども園へ工場内の緑地で採れた松ぼっくりと織機社員が作った作品をプレゼントしました。園児達に工作に活用してもらう事により、自然に親しみを感じてもらい、合わせて笑顔をお届けしました。

活動実績

- ・豊田自動織機長草工場には松林があり、秋になると松ぼっくりが多数落下している。
- ・通常松ぼっくりは落葉・枯れ枝と一緒に回収して、社外焼却処分を行っている。
- ・松ぼっくりを有効活用して環境に役立てる事が出来ないかと考え、市内の保育園やこども園へプレゼントする事にした。大府市環境課に希望のある保育園やこども園がないか相談した。
- ・社員が作った松ぼっくりを用いた作品も合わせて届けた。
- ・園児が松ぼっくりを使って自然に親しみ、笑顔いっぱいになりますように。

<松ぼっくりプレゼント>

実施日	2022年10月27及び31日
プレゼント品	工場内で採れた松ぼっくり(2,400個)と松ぼっくりを使った作品
プレゼント先	大府市内の希望のあった全ての保育園・こども園 計8園
参加者	豊田自動織機長草工場(環境G、健康管理G有志、緑地管理業者)、大府市環境課、保育園・こども園の先生、園児

活動事例3「子ども達への体験学習機会の創出」

環境活動プラットフォーム体制

【活動のフィールド提供】

- ・(株)げんきの郷[ジャガイモ堀り体験]
- ・愛三工業(株)[水生生物調査にサークルの子ども達を招待]
- ・(一社)BUN-KAI[竹水鉄砲作り体験]

フィールドの提供

体験学習の場の提供を依頼

【ワンストップ窓口、
コーディネート】
大府市

課題・提案等

体験学習の機会の提供を依頼

環境イベントの創出や招待

【活動への社会貢献】

(株)げんきの郷、愛三工業(株)、(一社) BUN-KAI

子どもの学び、
気づきのため、
体験学習の場を
提供してほしい。

【相談者】子育て支援サークル
「あそびのいっぽ」

連携・協力体制の構築

▼ 自然環境に触れる体験ならではの学び、気づきを提供
▼ 体験による学び、気づきで環境リーダーの育成に寄与



活動概要

サークル活動の中で「子ども達の体験学習ができるような場所がなくなってきているので、体験学習ができる場を提供できないか」と相談があり、地域の事業者や市民団体に支援相談することで、ジャガイモ収穫体験や竹水鉄砲を作る体験イベントを開催することができた。

活動実績

①ジャガイモ掘り体験 【株式会社げんきの郷】



②竹水鉄砲づくり体験 【一般社団法人BUN-KAI】



③バイオマス発電施設の 工場見学 【オオブユニティ株式会社】



自然や設備に触れて体験することで、環境意識を学び、気づくことができ、将来的な環境行動に取り組む市民への人材育成につながっている。

【参考】その他取組紹介



活動事例：市内のフードドライブ活動

(子育て支援サークルあそびのいっぽ、大府市社会福祉協議会)

活動概要



家庭で不要となった未開封食品を寄付していただき、必要としている方に届ける活動です。日常の「もったいない」を「ありがとう」に繋がります。環境パートナーシップでは、フードドライブの活動を行っている市内の団体や自治体、事業者などと連携し、この活動を支援しています。市は、身近な場所で寄付いただける拠点を増やすことで、生活困窮家庭やひとり親家庭などへの食糧支援の拡充を推進しています。



活動実績

【ファミマフードドライブの協定調印式】

(日時) 令和6年7月4日(木) 午前9時～午前9時30分
(場所) 大府市社会福祉協議会2階会議室(大府市東新町1-219)
(参加者) あそびのいっぽ代表 大橋房代氏
大府市社会福祉協議会会長 加古守氏
ファミリーマート東海第1リージョン部長 元永洋介氏



【株式会社バローホールディングスとのフードドライブポスト設置式】

(日時) 令和7年12月24日(水) 午前10時30分～午前11時00分
(場所) 大府市役所3階301会議室(大府市中央町5-70)
(参加者) あそびのいっぽ代表 大橋房代氏
大府市社会福祉協議会会長 加古守氏
(株)バローホールディングス サステナビリティ推進室長 秋元武氏



【クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の活動拡大】



クリーン・アップ・ザ・ワールドとは

クリーン・アップ・ザ・ワールドとは、ヨットマンのイアン・キアナンの発案により、オーストラリアで1989年より始まった清掃活動です。1993年からは、国連環境計画の協力を得て、国際的な活動に発展しました。毎年世界130ヶ国、3,500万人が参加していると言われています。

大府市内でも1993年度から、石ヶ瀬川・鞍流瀬川を中心に各地で活動しています。



【主な役割分担】

クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府 開催

活動実施

側面支援

<行政>

- 活動の側面支援
- ごみの処分費用

<参加者>

- 在住・在勤・在住の市民
- 地域活動への参加

<活動団体>

- コミュニティ、自治区、学校等
- 地域活動等の企画・調整

ご清聴ありがとうございました。

